

福井県ふるさと文学館報

第6号

いあこわい

館長 堂阪 弘美

ふるさと文学館はこれまで、福井ゆかりの作家の作品や資料の展示、様々なテーマにちなんだイベントを開催し、今年で五周年を迎えました。県内外からご来館いただいた多くの方々やご支援頂いた皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

今年度の企画展は夏に「水上勉展〜生きるということ〜」を開催し、生きるということの本質に迫った作品を通して水上勉の軌跡に触れる展示を行いました。また秋には荒川区と合同で「吉村昭展〜ふるさと旅〜」を開催し、故郷の荒川区や旅した土地と、作品とのつながりを紹介しました。冬の「文学の食卓展」では、村井弦斎や織田作之助、開高健の作品を中心に、文学と食との関わりをお伝えしました。

この他、島田雅彦氏、島本理生氏など著名な作家による講演会をはじめ、文学のお祭り「文学フェスタ」、文学について気軽に語り合う「文学カフェ」、詩や川柳などの「創作講座」、作家デビューを目指す「文学ゼミ」など多彩なイベントを開催し、多くの方々に文学に親しんでいただく機会を提供いたしました。特に今年度は、人気声優による朗読会や、子どもを対象にした草鞋作りのワークショップ、点訳を学ぶ講座など、新しい企画を通してより幅広い世代に来館していただく試みも行いました。

今後も様々な工夫を重ね、ご来館された皆様に文学に触れる喜びと感動をもたらすよう努力してまいります。引き続き、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

企画展

刀根里衣展

会期 四月二六日(金)～五月二六日(日)

こどもの読書週間にちなみ、福井県出身の絵本作家刀根里衣氏のトークショーと原画展を、県立図書館と共催で開催しました。

刀根里衣氏は福井県敦賀市に生まれ、二〇一一年、イタリアの出版社から自身初の絵本『なんにもできなかったとり』を刊行されました。翌年から二年連続でポロニーヤ国際絵本原画展に入選。一三年には『びっぼのたび』が同展国際イラストレーション賞を受賞しました。

本展では繊細なタッチで描かれた幻想的な絵画二四点を展示しました。

生誕100年 水上勉展〜生きるということ〜

会期 七月二〇日(土)～九月二三日(月・祝)

水上勉が一九一九年、福井県大飯郡本郷村(現・おおい町)に生まれてから、生誕一〇〇年にあたります。水上勉は様々な職業を経験し、一九四八年、私小説『フライパンの歌』がベストセラーになり、一九六一年には「雁の寺」で直木賞を受賞しました。『飢餓海峡』などの社会派推理小説や『良寛』



などの仏教文学、随筆や戯曲など幅広い分野の作品を描いています。

本展では、多彩な著作の中から、若い世代に向けて生きるといふことの本質に迫った作品を中心に取り上げ、水上勉のまなざしや軌跡を紹介しました。会場では、水上作品の朗読（小川忍氏、下條英子氏）や記録映画（世田谷区提供）などを視聴いただきました。

おしどり文学館協定締結二周年記念

吉村昭展「ふるさとと旅」

会期 一〇月二六日(土)～二月二日(日)

文壇のおしどり夫婦作家 津村節子・吉村昭両氏にちなみ、当館と荒川区ゆいの森あらかわ吉村昭記念文学館がおしどり文学館協定を締結して二周年となることを記念し、吉村昭展を開催しました。

吉村昭は小説の素材を求め福井や富山など北陸を訪れ、『天狗争乱』『高熱隧道』などの作品を著しています。荒川区との共催により、吉村昭の原点となる荒川や旅した土地とのつながりを紹介しました。



展示会場では、吉村昭愛用の鞆や万年筆、「雪の花」「高熱隧道」の原稿、妻津村節子に宛てた手紙など七四点を展示しました。

また、吉村昭朗読（第八回声のライブラリー）の映像を常時紹介するとともに、映画「密会」や「魚影の群れ」の他、放送ライブラリー配信による吉村昭原作・原案作品の上映会などを行いました。

開館五周年記念 文学の食卓展

会期 一月二五日(土)～三月二二日(日)

冬季企画展では、文学にとって大きなテーマの一つであり、私たちが毎日口にする食をテーマにした企画展を開催しました。第一章では、明治期に小説『食道楽』によって食の大切さを説いた村井弦斎、大阪の食を『夫婦善哉』に描いた織田作之助、世界各地を旅し食を探求した開高健など、様々な視点で食をとらえ描いた作家と作品を紹介。弦斎が使った味見道具、開高健が旅で持ち歩いた釣り道具や旅行鞆などを展示しました。

第二章では、福井の名物が描かれた作品や福井ゆかりの作家が描いた作品を紹介。終戦前後の食事の様子を記した高見順の日記原本や、コシヒカリの美味しさを綴った津村節子のエッセイ原稿、かきが出る冬の夕食の風景を詠んだ伊藤柏翠の色紙などを展示しました。



プロローグゾーン展

福井の春を描いた文学

期間 四月二日(火)～六月二六日(水)

福井の春の名山や花、郷土料理など、風物詩を取り上げた文学作品を紹介しました。

加古里子の世界

期間 第一部…遊び学ぶ子どもたち 四月二六日(金)～六月二六日(水)
第二部…美しい自然と宇宙 六月二八日(金)～八月二日(水)

子どもたちが自発的に考え学ぶことを願った越前市出身の絵本作家 加古里子にちなみ、子どもたちをテーマにした一期と、自然や宇宙をテーマにした二期に分けて複製原画や絵本を紹介しました。

ふくい文学夏日和

期間 六月二八日(金)～九月一日(水)

糸山秋子「海の仙人」、大島昌宏「九頭竜川」など福井の夏が描かれた文学作品を集めました。福井県文書館の夏の展示「音をつづる」と連携し、文学作品に登場する福井の夏の音も紹介しました。

特集展示 没後四〇年 中野重治

期間 八月二三日(金)～二月一八日(水)

坂井市出身の作家・中野重治の没後四〇年にちなみ、祖父母と暮らした少年時代をもとにした小説『梨の花』に焦点を当て、資料を紹介しました。また、文学館アーカイブの告別式の記録映画も紹介しました。

ふるさと秋じまん

期間 九月二三日(金)～二月一八日(水)

松尾芭蕉が詠んだ敦賀の名月にちなんだ短歌や、九頭竜溪の紅葉を綴った随筆など、福井の秋を描いた小説や随筆、詩歌を紹介しました。

福井の冬を描いた作品

期間 二月二〇日(金)～三月二五日(水)

水ようかんや越前水仙など、冬を代表する風物詩ごとに関連する文学作品を紹介しました。

ようこそふるさと文学館へ!

期間 二月二〇日(金)～四月二日(日)

令和元年に当館を来訪された作家のうち一人の方の色紙や写真、書籍などを紹介し、一年を振り返りました。

◆タイムリースポット

祝・谷崎由依氏 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞

期間 四月二六日(金)～五月二三日(水)

福井市出身の小説家・谷崎由依氏が芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞した記念として著作や自筆資料を展示し、業績を紹介しました。

祝・荒川洋治氏 恩賜賞・日本芸術院賞受賞

期間 五月二四日(金)～八月二日(水)

坂井市出身の現代詩作家・荒川洋治氏が恩賜賞・日本芸術院賞を受賞した記念として、著作や自筆資料を展示し業績を紹介しました。期間中には荒川氏の講演会も開催しました。

明智光秀を描いた福井ゆかりの文学

期間 二月二〇日(金)～二月一九日(水)

大河ドラマ「麒麟がくる」で主人公となる福井ゆかりの戦国武将・明智光秀にちなみ、山崎光夫氏の『小説 曲直瀬道三』など、光秀を描いた福井ゆかりの文学を紹介しました。

天災を綴る——福井ゆかりの作家と天災

期間 二月二一日(金)～四月二二日(日)

全国文学館協議会の共同展示「三・一一文学館からのメッセージ」として、福井ゆかりの作家の随筆を紹介しました。

◆ギャラリー「文学の小路」展示

未来のふるさと文学作家作品展

期間 八月三日(土)～九月二一日(水)

福井市木田小学校の生徒たちが取り組んだ課題を紹介。新聞に掲載された季節の話題をもとに、夏の俳句を発表しました。

「少年の主張」作品展

期間 九月二三日(金)～一〇月十一日(金)

第四一回「少年の主張」コンクールの県大会で発表された福井の中学生たちの主張を紹介しました。

令和元年度親子書道教室作品展

期間 一〇月八日(火)～二月二七日(水)

県立図書館で開催した親子書道教室において制作された個性豊かな書作品を紹介しました。

安全・安心「俳句・川柳」コンクール作品展

期間 一〇月八日(火)～二月二七日(金)

第四回安全・安心「俳句・川柳」コンクールの応募作品のうち、歴代の優秀作品を紹介しました。

「比那ヶ岳俳句会」作品展

期間 一月二三日(月)～三月二二日(日)

越前市を中心に活躍する俳句グループの作品展を開催し、新年を読んだ俳句を紹介しました。

「文学の食卓展」開催記念 食の絵画作品展

期間 一月二四日(金)～三月二二日(日)

福井県内で活躍する絵画グループ「かたつむりの会」「ひまわりの会」「凡久彩の会」メンバーが、企画展にちなみ、福井の味覚や食をテーマにした絵画作品を展示しました。

出前文芸創作教室作品展

期間 三月六日(金)～四月二二日(日)

当館より講師を派遣する出前教室において、春江中学校の生徒が創作した詩、美方高校、道守高校の生徒が創作した短歌を展示しました。



教育普及活動

文学フェスタ

一月、県内で文芸創作を行う方々が作品を発表したり、作り手や読者が交流する場として、文学のお祭り「文学フェスタ」を開催しました。図書館エントランスホールには、文学同人や高校、大学の文芸部など一団体がブースを開設し、同人誌の頒布や活動紹介を行いました。作品を一般の方に見ていただく貴重な機会と捉えるとともに、暖かな交流も見られました。



また、池澤夏樹氏講演会「創作に秘訣はあるか？」を開催しました。自分のルーツが福井県にあること、小説の組み立て方、テーマや結末をどう決めるかなど創作についての考えを語りました。また、交流会にも参加され、作品や創作について大いに語り合い、多くの人々の心に響く貴重な機会となりました。このほか、福井の文学出版物の展示や、ふるさと文学難問クイズも行いました。カフェあすわの木では、文学にまつわるランチやからすのパンやさんの絵本バンも楽しんでいただきました。新潮社の編集者による小説創作講座や図書館・文書館・文学館三館をめぐるスタンプラリーも行い、大人から子どもまで文学に親しむ充実した一日になりました。



池澤夏樹氏

作家講演会

六月に島田雅彦氏講演会を行いました。水上勉をはじめ植谷雄高、中上健次、大江健三郎といった文豪たちとの思い出や、谷崎潤一郎、大岡昇平、岡倉天心などの文学的価値を分かりやすく説明しました。八月には、恩賜賞・日本芸術院賞受賞を記念し、荒川洋治氏講演会を開催。高校時代から現在に至るまでの文学活動の軌跡を語り、最後に自作の詩「美代子、石を投げなさい」を朗読しました。九月には島本理生氏が講演し、恋愛小説も世の中の動きに影響され、書く内容も大きく変化すること、それでも変わらないものがあるということについて、自作を例に解説しました。

オーサートーク 作家による出前授業

若者に人気の作家が出前授業を行う「オーサートーク」を二月に開催しました。今回は『鴨川ホルモー』や『プリンセス・トヨトミ』など多くの作品が映像化されている万城目学氏が、福井南高校、丸岡高校を訪問し、小説家になるまでの様々な経験、そして対談された上原選手に聞くお話などを通して、「あえて困難な道に挑戦し続け、自分の成長を感じる大切」というメッセージを語りました。



万城目学氏



島田雅彦氏

文学カフェ

福井ゆかりの作家や、作家と関わりの深い方にお話を伺い、理解を深める文学カフェを五回開催しました。

五月の文学カフェでは、ライトノベル作家・本宮ことは氏が、同人誌からケータイ小説ブームを経て、やがて小説投稿サイトで注目された作品が書籍化されるようになるまでの変遷を解説しました。六月に開催した京都造形芸術大学教授の辻井南青紀氏によるジュニア文学カフェには高校文芸部員が参加し、写真を見てキャラクターやストーリーを作るワークショップを行いました。九月には、シンポジウム「水上勉の時代」を開催し、ご長女の上上路子氏、研究者の大木志門氏、掛野剛史氏、高橋孝次氏、劉哈氏が様々な側面からその魅力を語りました。一月には声優・赤羽根健治氏とハープ奏者・窪田ひとみ氏による朗読会「中野重治の世界」を開催。『梨の花』、『歌のわかれ』など、五つの詩を美しいハープの音色とともに朗読しました。また、おしどり文学館協定二周年記念の文学カフェでは、吉村昭氏のご長男、吉村司氏が父の思い出や作品の魅力について語りました。母である津村節子氏のメッセージ映像も流れ、会場は大いに盛り上がりました。



文学講座

かこさとしふるさと絵本館館長の谷出千代子氏は、加古里子を中心に福井ゆかりの児童文学作家について語りました。また、加古里子の思いが受け継がれている現在のいろいろな作品を紹介し、その業績を称えました。

ふくい文学ゼミ

作家養成講座「ふくい文学ゼミ」は五期目を開講し、一名が受講しました。新潮社の編集者から、小説執筆の心構えや登場人物の設定、ストーリーの作り方など、一年を通じたプログラムにより小説執筆のコツを学びました。また、毎回の提出作品の合評では仲間との切磋琢磨により実践力を磨きました。特別講座では、現役作家から創作に関する具体的なアドバイスをいただきました。



出前文芸創作教室

詩や短歌、俳句で活躍されている方が学校に向いて創作のノウハウを教える出前教室を開催しました。七月に河野中学校、武生高校で俳句、道守高校で短歌、春江中学校で詩の授業を行い、九月に内浦中学校で詩、十一月に美方高校で短歌の授業を行いました。どの講座も感情を言葉で表現する創作の喜びや、表現を工夫する素晴らしさに触れる良い機会となりました。

創作講座

文学への関心と創作意欲を高めるため、文章講座を全三回、詩の講座、小説講座、川柳講座を各一回開催しました。文章講座は、ふくい風花随筆文学賞実行委員会との共催により、新聞社の特別論説委員、エッセイスト、新潮講座の講師が文章を書くポイントを解説しました。また詩の講座では、参加者が書いた「いつ」「誰が」「何をした」という三つのカードをシャッフルし、偶然生まれた文を基に詩を作るワークショップを行いました。川柳講座では、風物でなく人の思いを表現し、読めばすぐ内容が理解できるという川柳の特徴についてわかりやすく説明いただきました。



令和元年度に開催したイベント一覧

期日	イベント名	場所	期日	イベント名	場所
4/28(日)	キッズ文学キネマ「手袋を買いに」 「だるまちゃんてんぐちゃんだるまちゃんとかみなりちゃん」	映像コーナー	9/29(日)	第3回文章講座(森重良太氏)	研修室
5/5(日)	キッズ文学キネマ「じごくのそうべい」「でたらめ経」	映像コーナー	10/5(土)	朗読会「中野重治の世界」	県生活学習館・映像ホール
5/12(日)	文学講座(谷出千代子氏)	研修室	10/20(日)	第3回ふくい文学ゼミ	研修室
5/26(土)	文学カフェ(本宮ことは氏)	研修室	11/2(土)	文学カフェ(吉村司氏)	多目的ホール
6/1(土)	ジュニア文学カフェ(辻井南青紀氏)	多目的ホール	11/9(土)	文学キネマ「魚影の群れ」	映像コーナー
6/16(日)	第1回ふくい文学ゼミ	研修室	11/13(水)	出前文芸創作教室(短歌:紺野万里氏)	美方高校
6/22(土)	島田雅彦氏講演会	多目的ホール	11/16(土)	文学フェスタ「池澤夏樹氏講演会」	多目的ホール
6/29(土)	第1回創作講座(詩:今村秀子氏)	研修室	11/16(土)	文学フェスタ 「第2回創作講座小説の書き方入門編」	研修室
7/8(月)	出前文芸創作教室(俳句:中内亮玄氏)	河野中学校	11/16(土)	文学フェスタ「交流会」	あすわの木
7/8(月)	出前文芸創作教室(俳句:中内亮玄氏)	武生高校定時制	11/16(土)	文学フェスタ「同人誌ブース」	エントランスホール
7/12(金)	出前文芸創作教室(短歌:紺野万里氏)	道守高校	11/16(土)	文学フェスタ「ふるさと文学難問クイズ」	文学館カウンター
7/23(火)	出前文芸創作教室(詩:黒田不二夫氏)	春江中学校	12/8(日)	文学キネマ「密会」	映像コーナー
7/27(土)	第1回文章講座(増永迪勇氏)	研修室	12/13(金)	オーサートーク(万城目学氏)	福井南高校
7/28(日)	文学キネマ「はなれ醫女おりん」	映像コーナー	12/13(金)	オーサートーク(万城目学氏)	丸岡高校
8/3(土)	ワークショップ手仕事体験	映像コーナー	12/15(日)	第3回創作講座(川柳:村田繁一氏)	研修室
8/4(日)	文学キネマ「ブンナよ、木からおいてこい」	映像コーナー	12/21(土)		
8/10(土)	第2回文章講座(山下裕己氏)	研修室	12/22(日)	吉村昭作品上映会	映像コーナー
8/17(土)	荒川洋治氏講演会	多目的ホール			
8/18(日)	点訳について学ぼう	研修室	1/18(土)	第4回ふくい文学ゼミ	研修室・大会議室
9/7(土)	第2回ふくい文学ゼミ	研修室	2/8(土)	高校生文学演劇祭	多目的ホール
9/8(日)	島本理生氏講演会	多目的ホール	2/22(土)	文学キネマ「武士の献立」	映像コーナー
9/15(土)	出前文芸創作教室(詩:佐野なおみ氏)	内浦中学校	2/23(日)	第5回ふくい文学ゼミ	研修室

資料寄贈のお願い

当館では、福井の文学に関する資料を収集・保存し、次の世代に継承するとともに展示・研究などで活用してまいります。福井ゆかりの作家や作品に関する資料（自筆原稿、書簡、書画、挿絵、愛用品、写真、映像等）がございましたら、文学館まで寄贈くださいますようお願いいたします。

【寄贈受贈】

令和元年度に寄贈いただいた方を紹介します。
 荒川洋治氏、石川九楊氏、大森幹夫氏、川上明日夫氏、岡部杉介氏、草原光啓氏、小寺惣吉氏、藤田英行氏、堀直香氏、山本祐夫氏
 (五〇音順)

トピックス

◆二〇二五年二月二日に当館が開館して、お陰様で五年が経過しました。

これを記念して二〇二〇年二月八日「開館五周年記念高校生文学演劇祭」を開催しました！ 藤島、羽水、北陸、武生、仁愛女子、福井農林の各高校演劇部のみなさんが出演。加古里子の『からすのパンやさん』や芥川龍之介の『羅生門』などの文学作品をテーマとした演劇を上演しました。はつらつとした演技に観覧のみなさんは大きな拍手をよせていました。若い人たちが文学に親しむきっかけとなれば幸いです。



◆文学の小路を作品発表の場にどうぞ！

展示室周囲のスペースギャラリー「文学の小路」では、文学

に関する作品（詩、短歌、俳句など）を展示しています。学校の授業や部活動・県内文学関係グループの文学に関する作品発表の場としてご利用ください。



本年度は生誕一〇〇年水上勉展を開催し、「代表作家五人」すべての企画展を開くことができました。ご協力いただきました皆様により感謝申し上げます。また、声優・赤羽根健治氏による中野重治作品の朗読会、そして開館五周年記念「高校生文学演劇祭」の開催など、次々とイベントに挑戦した一年でもありました。今後もさらに企画展やイベントを充実してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

観覧料 無料
 休館日 毎週月曜日（休日の場合は返日）
 開館時間 平日 9時～19時
 土日祝 9時～18時
 祝日の翌日（第1日）が土日の場合は除く、年末年始
 資料点検期間（第四木曜日）月によって変更あり

ふるさと文学館へはフレンドリーバス（無料）が便利です。
 福井駅東口バスターミナルから30分間隔で運行（約15分）

福井県ふるさと文学館報 第6号

発行日 令和 2年3月31日
 創刊日 平成27年3月31日

福井県ふるさと文学館
 福井市下馬町51-11
 TEL: 0776-33-8866 FAX: 0776-33-8861
<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/>
<https://www.facebook.com/fukuibungaku/> (55030)